



大事協だよい

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第 59 号
2017 年 12 月 8 日発行



本年度新規採用者の声

与論町立茶花小学校 新徳 隼

この度、新規採用事務職員として与論町立茶花小学校に赴任して参りました、新徳隼と申します。4月初めは、本当に大忙しでした。交通の関係上、4月4日の赴任となったため、到着してデスク上の書類は、期限が差し迫ったもので山積みでした。困っていたところに、各学校の事務の先生が駆けつけてくださり、親切に教えていただきました。言われるがままに提出書類を作成していき、何とか乗り越えることができました。そして、あっという間に1学期、半年が経ち、以前より落ち着いて周りを見られるようになった気がします。それは、事務支援室の存在や周りの職員の支えがあったからだと思えます。調べて分からないことがあれば、連絡を取って丁寧に一つ一つ教えてくれます。毎日感謝でいっぱいです。学校では、事務のお仕事以外にも、朝の時間や昼休みは、子どもたちとボールを使って遊んだり、お話ししたりして、過ごしています。お休みの日には、シュノーケルやサップをして楽しんでいます。まだまだ、勉強不足な面がありますが、毎日一個は、知識を身につけ、今後は、子どもたちが過ごしやすい環境づくりと先生方の働きやすい環境づくりのサポートに努めたいと思えます。

早くも一年の締めくくりの月となりました。
寒くなってきましたが、体調に気を付けて、年末年始を乗り切りましょう！



今回は①与論町②徳之島町③住用地区の3地区から原稿をいただきましたので、紹介いたします。

①与論町事務委員会 与論町立与論小学校 坂元 隼

結の島の皆様、こんにちは。与論町事務支援室です。
東洋の真珠、与論島。絶世の美しい海、幻のビーチ「百合が浜」、伝統の「与論献奉」、白亜の海岸通り、吹き荒れる海風、空飛ぶ巨大なバッタ等々、様々な魅力(?)が訪れる人たちを出迎えてくれます。そして、何よりもゆんぬんちゅたちの暖かさに溢れた、小さくても心豊かな島です。

さて、与論町事務支援室は、小学校3校と中学校1校の4名体制で、月2回定例会を実施しています。活動内容としては、諸手当認定事務・旅費の相互点検・町費予算執行に係る質疑・各校の施設管理上の課題の情報共有・年末調整申告書の相互点検などを行っています。

与論町は、4名中3名が新採及び再配であり、支援室は若手事務職員が経験を積んでいく場として意義が非常に大きいです。旅費の相互点検については、各校の毎月の旅費を必ず複数校で点検しており、全校で遺漏防止に努めています。また、毎年夏休み期間に「合同安全点検」を行い、4校の事務職員が町教育委員会担当者とともに、各4校を訪問して施設管理上の問題点について視察して回ります。年度の予算の執行の範囲を明確にすることで、今後の指針を立てることができます。

与論町では、子どもたちが島を離れたとき力を発揮できるような「島立ち」の教育を掲げています。純粋な心の子供たちを囲まれながら、4名の事務職員で日々協力して、教育活動の一助となれるよう、今後とも取り組んで参ります。



「死ぬまでに行きたい世界の絶景日本編」でも紹介された与論島。南半球の代表的な星座「南十字星」を日本で観測できる数少ない場所です。



②奄美市住用ブロック 奄美市立住用中学校 前田 高志

こんにちは、住用地区学校事務支援室です。
奄美市住用町は、マングローブの群生地が広がっており、「たんかん」の果樹栽培が盛んです。面積の約85%が険しい山岳地となっており、アマミノクロウサギ、ルリカケスなどが生息し、河川にはリュウキュウアユなどが生息と、自然豊かな地域となっています。

住用地区学校事務支援室は、住用小学校、住用中学校、市小・中学校、東城小・中学校の4校・4名で支援室業務を行っています。再任用者から若年者まで幅広い年齢層で構成されています。今年度は、新しく2名が入れ替わりスタートしました。

支援室は基本月に2回、午後から開催していますが、今年度は市事務研へ向けて研修の時間を充実させるため、午前中からの終日日程での実施を4回計画しました。



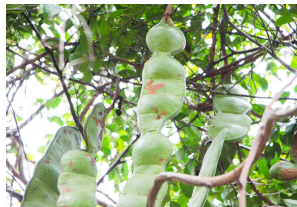
4名での業務ということもあり、多くのことへ取り組む余裕を持ってないのが実情ですが、諸手当認定事務を始め、自主検査へ事務支援室として関わるなど、各学校事務職員への支援に取り組んでいます。諸手当の事後確認として、今年度は住居手当の事後確認を実施する予定です。また、支援室だより「マングローブ」も継続発行中です。昨年度までは年3回発行でしたが、今年度は発行回数を増やして年4回の発行を予定しています。

今年度始めに執務室への空調設備の整備を要望しましたが、未だ実現していません。執務中は授業の妨げにならないように廊下側の入り口は閉めるので、高温多湿の中、扇風機1台をフル稼働させ、タオルで汗を拭きながら業務を行っています。来年こそは快適な環境で仕事ができることを願っています。

4名と少ない人数ですが、今後ともよろしく願っています。



住用のマングローブでは世界最大の豆である「モタマ」という植物が見られます。「ジャックと豆の木」のモデルとなったといわれる豆です。



③徳之島町事務職員会 徳之島町立東天城中学校 岩越 智生

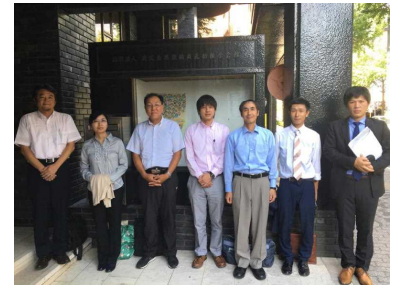
こんにちは、徳之島町事務職員会です。
徳之島町は、今年度新規採用事務職員1名が配置されましたが、尾母小中学校に事務職員の配置がなく、1名減となり小学校5名・中学校4名の計9名の事務職員で活動しています。

事務職員研修会においては、昨年度から「保護者の負担軽減」を研修テーマとし町予算執行の見直しを行

うとともに、公費外支出調査を行い、予算増額の要望書を作成し町教委へ提出しました。今年度も10月の管外研修視察では、「保護者の負担軽減」を中心に研修しました。

支援室は毎月2回あり、北部と南部の2つのブロックに分かれています。町事務職員研修会等があるときは同一会場で活動しています。主な活動内容としては諸手当認定確認事務、実績報告等確認、業務改善研修、旅費請求相互点検等を行っており、新採1年目・2年目の事務職員のために日常業務での疑問や悩みについての質疑応答を密に行うなど支援体制も整えています。

これからも事務職員として自己研鑽に励みながら子どもたちや学校職員の教育条件整備のために協力して取り組んでいきたいと考えています。



～採用から半年がたちました～

徳之島町立母間小学校
町口 瑛令子



新規採用職員として徳之島町立母間小学校へ赴任してまいりました、町口瑛令子と申します。徳之島の夏は暑さが厳しく、いつまでこの暑さが続くのだろうかと思っていましたが、台風が過ぎてから大分涼しくなってきました。季節も移り変わり、赴任してから半年がたちましたが、いまだに毎日毎日が新しいことへの挑戦で、目の前の仕事を終わらせるのに精一杯の日々を過ごしています。わからないことばかりの毎日ですが、その際助けてくださる支援室の先生方や、前任の先生、母間小の先生方にはお世話になりっぱなしでも感謝しています。

初めての離島ということで最初は慣れないことが多かったのですが、支援室の先生や、学校の先生に島内を案内してもらったり、釣りに連れて行ってもらったり、おいしいものを食べに行ったりと、充実した日々を過ごしています。同じ鹿児島県でも鹿児島本土と離島では文化が全く異なり、新しい発見も多くとても刺激を受けています。

学校では学校行事にも積極的に参加し、先生方や子どもと交流をすること、子どもの成長を見ることを楽しみに過ごしています。仕事では、来年度同じ間違いをしないように、そして自分の仕事をしっかりこなせるようにこれから少しずつ今年度の振り返りとまとめをし、来年度に活かせるようにしていきたいと思えます。

まだまだ分からないことが多く迷惑をかけることも多いですが、精進してまいりますのでよろしくお願い致します。